

**SANNIX**

for Energy, for Environment

Photovoltaic Solution

Total Sanitation

Environmental Resources Development

**2017年3月期 第1四半期 決算説明会**

**株式会社サニックス**

**2016年 8月10日**

## 1. 2017年3月期 第1四半期 決算概況 P.3

## 2. 2017年3月期 通期 業績見通し P.14

### 【免責事項】

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報による判断に基づくものです。従いまして、以下の要因をはじめとする様々な要因により、将来時点における実際の収益及び業績は、業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、「再生可能エネルギーの固定買取制度」の動向および当該制度に関わる電力会社の動向、他の業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の当社の予測を超える様々な要因。

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

### (注)

- ・ 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 営業利益、経常利益、当期純利益の”△”表記は、それぞれ営業損失、経常損失、当期純損失を表します。
- ・ 比率がマイナスあるいは1000%を超える値の場合「－」で表示しております。



for Energy, for Environment  
Photovoltaic Solution  
Total Sanitation  
Environmental Resources Development

---

# 1. 2017年3月期 第1四半期 決算概況

---

## 第1四半期 連結決算概況

(単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期				
	1Q実績	1Q実績	前年同期比	前年同期差異	計画	計画差異
売上高	15,690	<b>11,358</b>	72.4%	Δ 4,331	11,528	Δ 169
売上総利益	2,977	<b>3,074</b>	103.3%	+ 97	2,884	+ 190
(売上高売上総利益率)	19.0%	27.1%			25.0%	
営業利益	Δ 1,332	<b>Δ 446</b>	—	+ 886	Δ 707	+ 260
(売上高営業利益率)	—	—			—	
経常利益	Δ 1,368	<b>Δ 368</b>	—	+ 999	Δ 737	+ 368
(売上高経常利益率)	—	—			—	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	Δ 1,754	<b>Δ 621</b>	—	+ 1,132	Δ 1,077	+ 455
(売上高四半期純利益率)	—	—			—	

①売上高 太陽光発電事業における市場環境の変化による影響を受け、SE事業部門は大幅な減収となった。この結果、グループ全体の売上高は11,358百万円（前年同期比27.6%減）となった。

②利益 減収幅が大きかったものの、経営合理化等の取組みによる経費削減効果や、材料原価の低減などにより収益性が改善し、前年同期比で営業損失は縮小した。この結果、グループ全体の損益は、446百万円の営業損失（前年同期は1,332百万円の営業損失）、368百万円の経常損失（前年同期は1,368百万円の経常損失）、希望退職者募集に係る特別退職金等の早期希望退職関連費用177百万円を特別損失として計上したため、621百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失（前年同期は1,754百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となった。

## 第1四半期 セグメント別損益実績

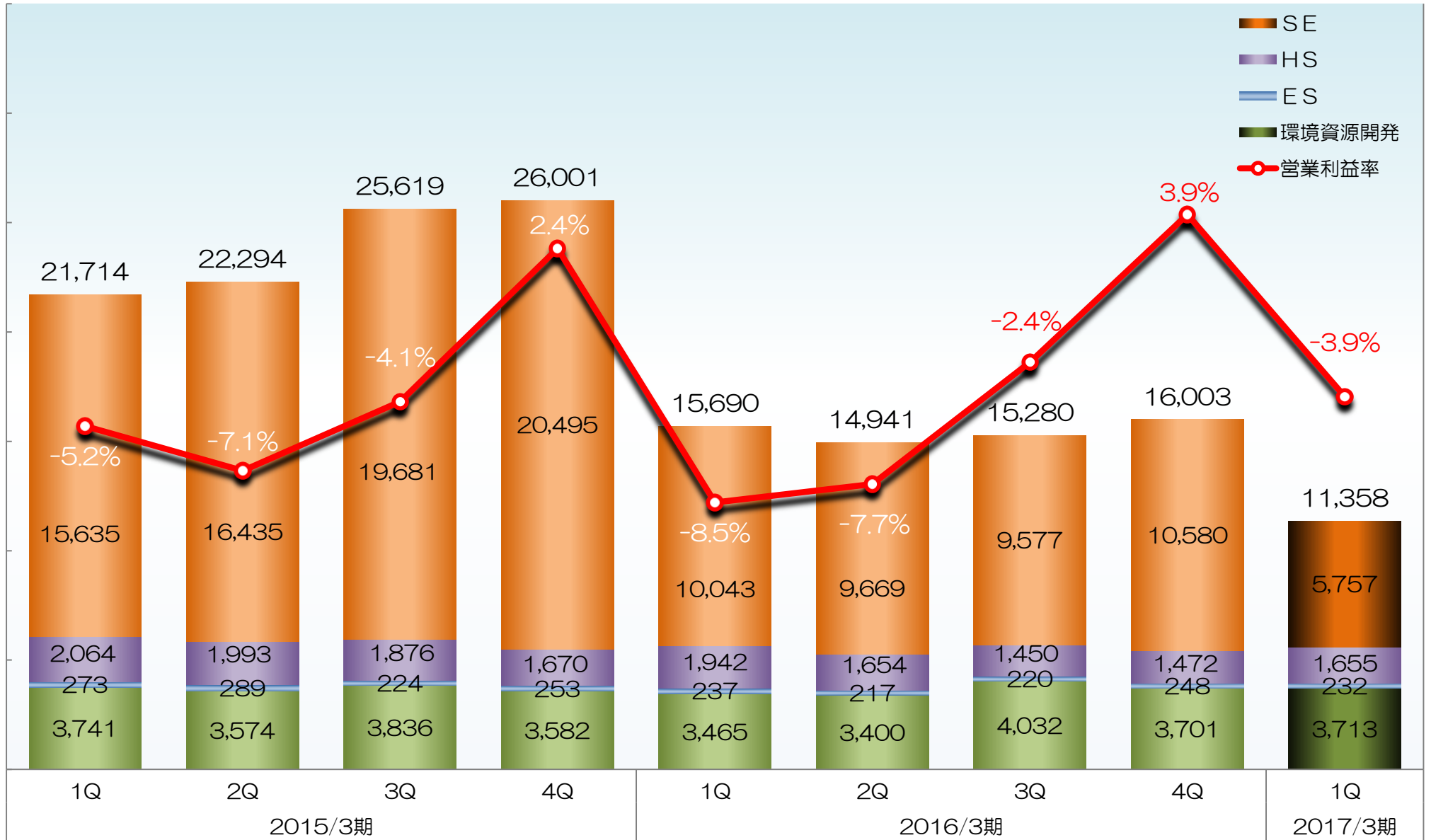
(単位：百万円)

	2016/3期		2017/3期				
	1Q実績	売上比	1Q実績	売上比	前年同期比	計画差異	計画売上比
売上高	15,690		<b>11,358</b>		72.4%	Δ 169	
SE部門	10,043	64.0%	<b>5,757</b>	50.7%	57.3%	+ 2	49.9%
HS部門	1,942	12.4%	<b>1,655</b>	14.6%	85.2%	Δ 253	16.6%
ES部門	237	1.5%	<b>232</b>	2.0%	97.9%	+ 6	2.0%
環境資源開発部門	3,465	22.1%	<b>3,713</b>	32.7%	107.1%	+ 75	31.6%
売上総利益	2,977	19.0%	<b>3,074</b>	27.1%	103.3%	+ 190	25.0%
販売費・一般管理費	4,309	27.5%	<b>3,520</b>	31.0%	81.7%	Δ 70	31.2%
営業利益	Δ 1,332	—	<b>Δ 446</b>	—	—	+ 260	—
SE部門	Δ 1,150	—	<b>Δ 68</b>	—	—	+ 282	—
HS部門	384	(19.8%)	<b>253</b>	(15.3%)	65.8%	Δ 90	(18.0%)
ES部門	11	(4.7%)	<b>14</b>	(6.0%)	125.3%	+ 17	—
環境資源開発部門	223	(6.4%)	<b>128</b>	(3.5%)	57.5%	+ 105	(0.6%)
配賦不能	Δ 801	—	<b>Δ 773</b>	—	—	Δ 53	—

・各セグメントの営業利益の売上比は、各セグメントの売上高に対する比率を( )内に表示しております。

# セグメント別売上高の推移

(単位：百万円)



## 第1四半期 セグメント別実績【SE事業部門】

(単位:百万円)

	2016/3期		2017/3期				
	1Q実績	売上比	1Q実績	売上比	前期比	計画	計画売上比
売上高合計	10,043		5,757		57.3%	5,755	
太陽光発電システム							
施工売上	8,078	80.4%	5,238	91.0%	64.8%	5,420	94.2%
西日本	5,328	53.0%	3,305	57.4%	62.0%	3,120	54.2%
東日本	2,750	27.4%	1,933	33.6%	70.3%	2,300	40.0%
卸販売	1,935	19.3%	488	8.5%	25.2%	310	5.4%
その他	29	0.3%	30	0.5%	103.6%	25	0.4%
売上原価	8,897	88.6%	4,269	74.2%	48.0%	4,537	78.8%
うち、材料費等 <sup>※</sup>	5,896	58.7%	2,916	50.7%	49.5%	3,056	53.1%
うち、労務費	1,637	16.3%	707	12.3%	43.2%	725	12.6%
売上総利益	1,146	11.4%	1,487	25.8%	129.8%	1,218	21.2%
販売費・一般管理費	2,296	22.9%	1,556	27.0%	67.8%	1,569	27.3%
うち、人件費	1,066	10.6%	584	10.2%	54.8%	656	11.4%
その他	1,229	12.2%	971	16.9%	79.0%	912	15.9%
営業利益	△ 1,150	—	△ 68	—	—	△ 351	—

※材料費等は、材料費と消耗品費を合算しております。

SE事業部門は、「太陽光発電システム」が減収となった。産業用太陽光発電の施工件数が減少したことや太陽電池モジュール等に係る卸販売が減少したことが主因である。この結果、売上高は5,757百万円(前年同期比42.7%減)となった。

営業損益は、大幅な減収となったものの、経営合理化等による経費削減や材料等の原価低減が奏効し、前年同期比で収益性が改善したことにより増益となり、68百万円の営業損失(前年同期は1,150百万円の営業損失)となった。

# 【参考】SE事業部門損益の四半期推移

(単位：百万円)

	2016/3期								2017/3期	
	1 Q		2 Q		3 Q		4 Q		1 Q	
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比
売上高	10,043		9,669		9,577		10,580		<b>5,757</b>	
売上原価	8,897	88.6%	7,718	79.8%	7,545	78.8%	7,691	72.7%	<b>4,269</b>	74.2%
材料費等 <sup>※</sup>	5,896	58.7%	5,437	56.2%	5,361	56.0%	5,787	54.7%	<b>2,916</b>	50.7%
労務費	1,637	16.3%	1,038	10.7%	1,065	11.1%	877	8.3%	<b>707</b>	12.3%
外注加工費	399	4.0%	561	5.8%	345	3.6%	328	3.1%	<b>152</b>	2.6%
その他	964	9.6%	681	7.0%	772	8.1%	698	6.6%	<b>492</b>	8.6%
売上総利益	1,146	11.4%	1,950	20.2%	2,032	21.2%	2,888	27.3%	<b>1,487</b>	25.8%
販売費・一般管理費	2,296	22.9%	2,172	22.5%	2,009	21.0%	1,741	16.5%	<b>1,556</b>	27.0%
人件費	1,066	10.6%	997	10.3%	818	8.5%	711	6.7%	<b>584</b>	10.2%
その他	1,229	12.2%	1,175	12.2%	1,190	12.4%	1,030	9.7%	<b>971</b>	16.9%
営業利益	Δ 1,150	—	Δ 222	—	22	0.2%	1,146	10.8%	<b>Δ 68</b>	—

※ 材料費等は、材料費と消耗品費を合算しております。



## SE事業部門の費用の状況

## ■限界利益率・損益分岐売上高の推移

売上高に占める変動費(材料費・外注加工費・運賃等)を引いた利益率を限界利益率として表示。

	2016/3期				2017/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
限界利益率 (%)	33.8	35.6	37.9	39.9	43.5
月平均固定費 (百万円/月)	1,515	1,221	1,201	1,024	857
損益分岐売上高 (百万円/月)	4,480	3,430	3,171	2,568	1,971

損益分岐売上高…固定費÷限界利益率

## ■固定費率の推移

労務費・人件費、その他経費(賃借料・車両費・共通費等)の固定費が売上高に占める割合を表示。

	2016/3期				2017/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
労務費・人件費 (百万円/月)	901	678	628	529	430
平均人員数(名)	1,946	1,566	1,349	1,077	943
その他経費 (百万円/月)	614	542	573	494	426

## 第1四半期 セグメント別実績【HS・ES事業部門】

(単位：百万円)

【HS事業部門】	2016/3期		2017/3期				
	1Q実績	売上比	1Q実績	売上比	前期比	計画	計画売上比
売上高	1,942		1,655		85.2%	1,909	
売上総利益	1,064	54.8%	864	52.2%	81.1%	1,058	55.4%
販売費・一般管理費	679	35.0%	610	36.9%	89.8%	714	37.4%
営業利益	384	19.8%	253	15.3%	65.8%	344	18.0%

HS事業部門は、利益率の高い「白蟻防除施工」や「床下・天井裏換気システム」「基礎補修・家屋補強施工」等家屋の維持保全関連に注力したが、減収となった。この結果、売上高は1,655百万円（前年同期比14.8%減）となった。

営業損益は、減収となったことにより減益となり、253百万円の営業利益（前年同期比34.2%減）となった。

(単位：百万円)

【ES事業部門】	2016/3期		2017/3期				
	1Q実績	売上比	1Q実績	売上比	前期比	計画	計画売上比
売上高	237		232		97.9%	226	
売上総利益	84	35.4%	88	38.1%	105.5%	74	32.7%
販売費・一般管理費	72	30.6%	74	32.1%	102.5%	77	34.1%
営業利益	11	4.7%	14	6.0%	125.3%	△3	—

ES事業部門は、ビル・マンション等の維持保全関連とともに、事業所向けのペストコントロール等衛生管理関連に注力した。この結果、売上高は232百万円（前年同期比2.1%減）となった。

営業損益は、減収となったもののコストが改善したことにより増益となり、14百万円の営業利益（前年同期比25.3%増）となった。

## 第1四半期 セグメント別実績【環境資源開発事業部門】

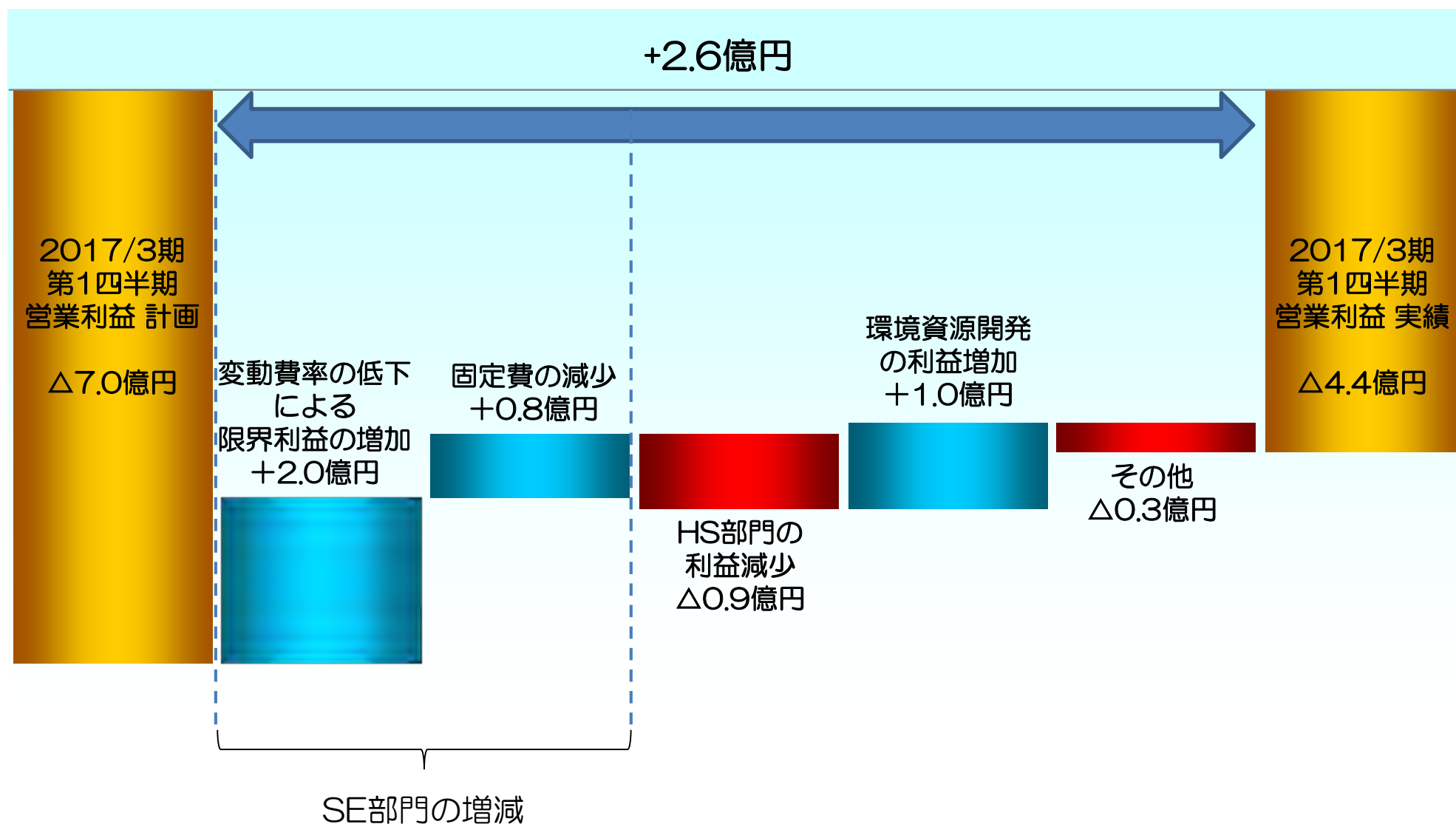
(単位：百万円)

	2016/3期		2017/3期				
	1Q実績	売上比	1Q実績	売上比	前期比	計画	計画売上比
売上高合計	3,465		<b>3,713</b>		107.1%	3,638	
プラスチック燃料	1,717	49.6%	<b>1,698</b>	45.7%	98.9%	1,725	47.4%
売電収入	864	24.9%	<b>1,224</b>	33.0%	141.6%	1,205	33.1%
（うち新電力事業収入）	—	—	<b>317</b>	8.5%	—	324	8.9%
有機廃液処理	419	12.1%	<b>410</b>	11.0%	97.7%	412	11.3%
埋立処理	182	5.3%	<b>172</b>	4.7%	94.4%	171	4.7%
その他	280	8.1%	<b>207</b>	5.6%	73.8%	125	3.4%
売上総利益	681	19.7%	<b>633</b>	17.1%	92.9%	534	14.7%
販売費・一般管理費	458	13.2%	<b>505</b>	13.6%	110.1%	511	14.0%
営業利益	223	6.4%	<b>128</b>	3.5%	57.5%	23	0.6%

環境資源開発事業部門は、「プラスチック燃料収入」は、廃プラスチック類の受入量が減少したが、定期物件の受入単価引き上げに取り組んだことにより、前年同期比1.1%減となった。また「売電収入」は、高圧需要家に対する電力小売りのエリアを拡大し新規供給先が増加したことにより、前年同期比41.6%増となった。この結果、売上高は3,713百万円（前年同期比7.1%増）となった。

営業損益は、増収となったものの、苫小牧発電所の定期修繕を当第1四半期連結会計期間に実施し、修繕費が増加したことを主因として減益となり、128百万円の営業利益（前年同期比42.5%減）となった。

# 【参考】 営業利益 増減理由 (第1四半期\_計画対実績)



## 【参考】経営合理化策及び人員数推移

## ■経営合理化策の実施状況

項目	実施状況
給与水準の見直し	平成28年4月及び10月に見直しを2段階にて実施
希望退職者の募集	希望退職実績 391名
店舗統廃合	SE事業部 7店舗 及び HS事業部 1店舗の統廃合を平成28年6月に実施
購買部門の縮小	大阪ロジセンターの廃止を平成28年6月に実施
パワコン生産規模の縮小	自社工場における現行機種が生産規模の縮小及び新たな機種の生産停止
エネルギー技術開発部門の縮小	けいはんな開発センター（京都府）へ平成28年8月に集約予定

## ■部門別人員数推移

期末人員数	2016/3期				2017/3期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
SE事業部門	1,619名	1,531名	1,248名	1,011名	869名
HS事業部門	382名	367名	408名	382名	415名
ES事業部門	50名	50名	49名	49名	59名
環境資源開発事業部門	396名	387名	409名	408名	419名
本社部門	542名	545名	482名	481名	379名
合計	2,989名	2,880名	2,596名	2,331名	2,141名



for Energy, for Environment  
Photovoltaic Solution  
Total Sanitation  
Environmental Resources Development

---

## 2. 2017年3月期 通期 業績見通し

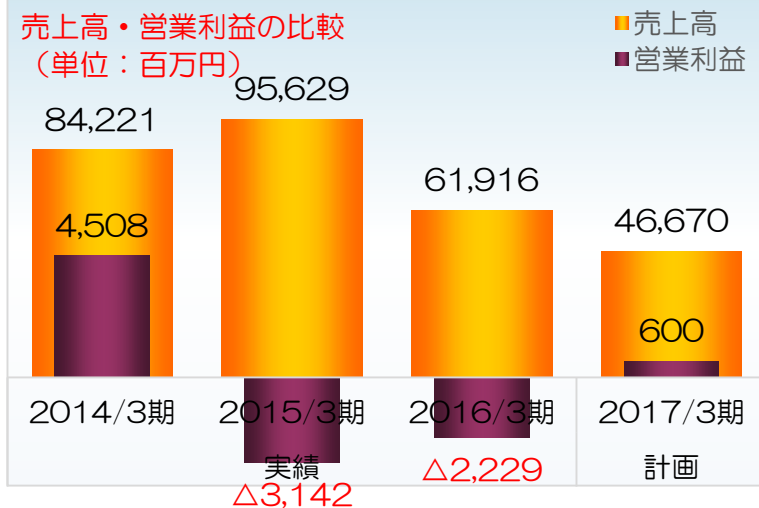
---

## 2017年3月期 通期連結業績見通し

業績見通しに変更はありません。

(単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期		
	実績	計画	前期比	前期差異
売上高	61,916	<b>46,670</b>	75.4%	Δ 15,246
売上総利益	13,783	<b>13,753</b>	99.8%	Δ 30
(売上高売上総利益率)	22.3%	<b>29.5%</b>		
営業利益	Δ2,229	<b>600</b>	—	+ 2,829
(売上高営業利益率)	—	<b>1.3%</b>		
経常利益	Δ1,949	<b>480</b>	—	+ 2,429
(売上高経常利益率)	—	<b>1.0%</b>		
親会社株主に帰属する 当期純利益	Δ4,604	<b>Δ60</b>	—	+ 4,544
(売上高当期純利益率)	—	—		



平成29年3月期の連結業績予想については、平成28年5月12日に公表した連結業績予想に変更はありません。

売上高については、太陽光発電事業における事業環境は厳しく、減収を見込んでおります。

しかしながら、利益については、部材のコストダウンが進み、更に当第2四半期連結会計期間以降、合理化の進捗により人件費を含む総経費圧縮の効果が実現することから、収益性の改善、黒字の定着化を見込んでおります。

## 2017年3月期 セグメント別業績見通し

業績見通しに変更はありません。

	2017/3期								
	上半期			下半期			通期		
	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異
売上高	<b>22,870</b>		Δ 7,761	<b>23,800</b>		Δ 7,484	<b>46,670</b>		Δ 15,246
SE部門	<b>10,790</b>	47.2%	Δ 8,923	<b>11,120</b>	46.7%	Δ 9,038	<b>21,910</b>	46.9%	Δ 17,961
HS部門	<b>3,875</b>	16.9%	+ 278	<b>3,855</b>	16.2%	+ 932	<b>7,730</b>	16.6%	+ 1,210
ES部門	<b>515</b>	2.3%	+ 59	<b>685</b>	2.9%	+ 215	<b>1,200</b>	2.6%	+ 275
環境資源開発部門	<b>7,690</b>	33.6%	+ 823	<b>8,140</b>	34.2%	+ 405	<b>15,830</b>	33.9%	+ 1,228
売上総利益	<b>6,368</b>	27.8%	+ 504	<b>7,385</b>	31.0%	Δ 534	<b>13,753</b>	29.5%	Δ 30
販売費・一般管理費	<b>6,888</b>	30.1%	Δ 1,459	<b>6,265</b>	26.3%	Δ 1,400	<b>13,153</b>	28.2%	Δ 2,860
営業利益	<b>Δ520</b>	—	+ 1,963	<b>1,120</b>	4.7%	+ 866	<b>600</b>	1.3%	+ 2,829
SE部門	<b>Δ160</b>	—	+ 1,212	<b>1,330</b>	(12.0%)	+ 160	<b>1,170</b>	(5.3%)	+ 1,372
HS部門	<b>575</b>	(14.8%)	Δ 13	<b>505</b>	(13.1%)	+ 478	<b>1,080</b>	(14.0%)	+ 465
ES部門	<b>0</b>	(0.0%)	Δ 25	<b>60</b>	(8.8%)	+ 31	<b>60</b>	(5.0%)	+ 6
環境資源開発部門	<b>405</b>	(5.3%)	+ 583	<b>505</b>	(6.2%)	+ 44	<b>910</b>	(5.7%)	+ 627
配賦不能	<b>Δ1,340</b>	—	+ 206	<b>Δ1,280</b>	—	+ 151	<b>Δ2,620</b>	—	+ 357
経常利益	<b>Δ580</b>	—	+ 1,784	<b>1,060</b>	4.5%	+ 644	<b>480</b>	1.0%	+ 2,429
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>Δ1,000</b>	—	+ 1,940	<b>940</b>	3.9%	+ 2,603	<b>Δ60</b>	—	+ 4,544

・各セグメントの営業利益の売上比は、各セグメントの売上高に対する比率を( )内に表示しております。



## 2017年3月期 セグメント別見通し【SE事業部門】

業績見通しに変更はありません。

(単位:百万円)

	2017/3期								
	上半期			下半期			通期		
	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異
売上高合計	<b>10,790</b>		△ 8,923	<b>11,120</b>		△ 9,038	<b>21,910</b>		△ 17,961
太陽光発電システム									
施工売上	<b>10,280</b>	95.3%	△ 5,968	<b>10,770</b>	96.9%	△ 7,401	<b>21,050</b>	96.1%	△ 13,369
西日本	<b>5,710</b>	52.9%	△ 4,445	<b>5,450</b>	49.0%	△ 5,085	<b>11,160</b>	50.9%	△ 9,531
東日本	<b>4,570</b>	42.4%	△ 1,522	<b>5,320</b>	47.8%	△ 2,315	<b>9,890</b>	45.1%	△ 3,838
卸販売	<b>460</b>	4.3%	△ 2,947	<b>300</b>	2.7%	△ 1,644	<b>760</b>	3.5%	△ 4,591
その他	<b>50</b>	0.5%	△ 7	<b>50</b>	0.4%	+ 8	<b>100</b>	0.5%	+ 0
売上原価	<b>8,171</b>	75.7%	△ 8,445	<b>7,666</b>	68.9%	△ 7,571	<b>15,837</b>	72.3%	△ 16,016
うち、材料費等	<b>5,643</b>	52.3%	△ 5,690	<b>5,662</b>	50.9%	△ 5,486	<b>11,306</b>	51.6%	△ 11,177
うち、労務費	<b>1,147</b>	10.6%	△ 1,528	<b>632</b>	5.7%	△ 1,310	<b>1,779</b>	8.1%	△ 2,839
売上総利益	<b>2,619</b>	24.3%	△ 477	<b>3,454</b>	31.1%	△ 1,466	<b>6,073</b>	27.7%	△ 1,944
販売費・一般管理費	<b>2,779</b>	25.8%	△ 1,690	<b>2,124</b>	19.1%	△ 1,627	<b>4,903</b>	22.4%	△ 3,317
うち、人件費	<b>1,156</b>	10.7%	△ 907	<b>879</b>	7.9%	△ 650	<b>2,036</b>	9.3%	△ 1,557
その他	<b>1,622</b>	15.0%	△ 782	<b>1,244</b>	11.2%	△ 976	<b>2,866</b>	13.1%	△ 1,759
営業利益	<b>△160</b>	—	+ 1,212	<b>1,330</b>	12.0%	+ 160	<b>1,170</b>	5.3%	+ 1,372

SE事業部門は、太陽光発電事業において厳しい事業環境が続くと見ており、売上高は減収を見込んでいる。利益については、部材のコストダウンが進むことや、人件費を含む総経費を圧縮することにより、採算性を改善し、黒字に転換することを見込んでいる。

## 2017年3月期 セグメント別見通し【HS・ES事業部門】

業績見通しに変更はありません。

(単位:百万円)

## 【HS事業部門】

	2017/3期								
	上半期			下半期			通期		
	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異
売上高合計	3,875		+278	3,855		+932	7,730		+1,210
売上総利益	2,133	55.0%	+253	2,107	54.7%	+731	4,240	54.9%	+984
販売費・一般管理費	1,558	40.2%	+266	1,602	41.6%	+252	3,160	40.9%	+519
営業利益	575	14.8%	△13	505	13.1%	+478	1,080	14.0%	+465

HS事業部門は、一般住宅の既存顧客向けに「白蟻防除施工」「床下換気システム」等におけるメンテナンス業務を行っているが、SE事業部門に集中してきた経営資源を振り向け、新規顧客を増やすとともに、顧客管理体制を拡充し、既存顧客へのフォローを強化することにより、売上高は増収を見込んでいる。

(単位:百万円)

## 【ES事業部門】

	2017/3期								
	上半期			下半期			通期		
	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異
売上高合計	515		+59	685		+215	1,200		+275
売上総利益	177	34.4%	+12	263	38.4%	+95	440	36.7%	+107
販売費・一般管理費	177	34.4%	+38	203	29.6%	+63	380	31.7%	+101
営業利益	0	0.0%	△25	60	8.8%	+31	60	5.0%	+6

ES事業部門は、ビル・マンション等のメンテナンス業務を行っているが、SE事業部門に集中してきた経営資源を再度振り向け、新規顧客を増やすとともに、顧客管理体制を拡充し、既存顧客へのフォローを強化することにより、売上高は増収を見込んでいる。

業績見通しに変更はありません。

(単位:百万円)

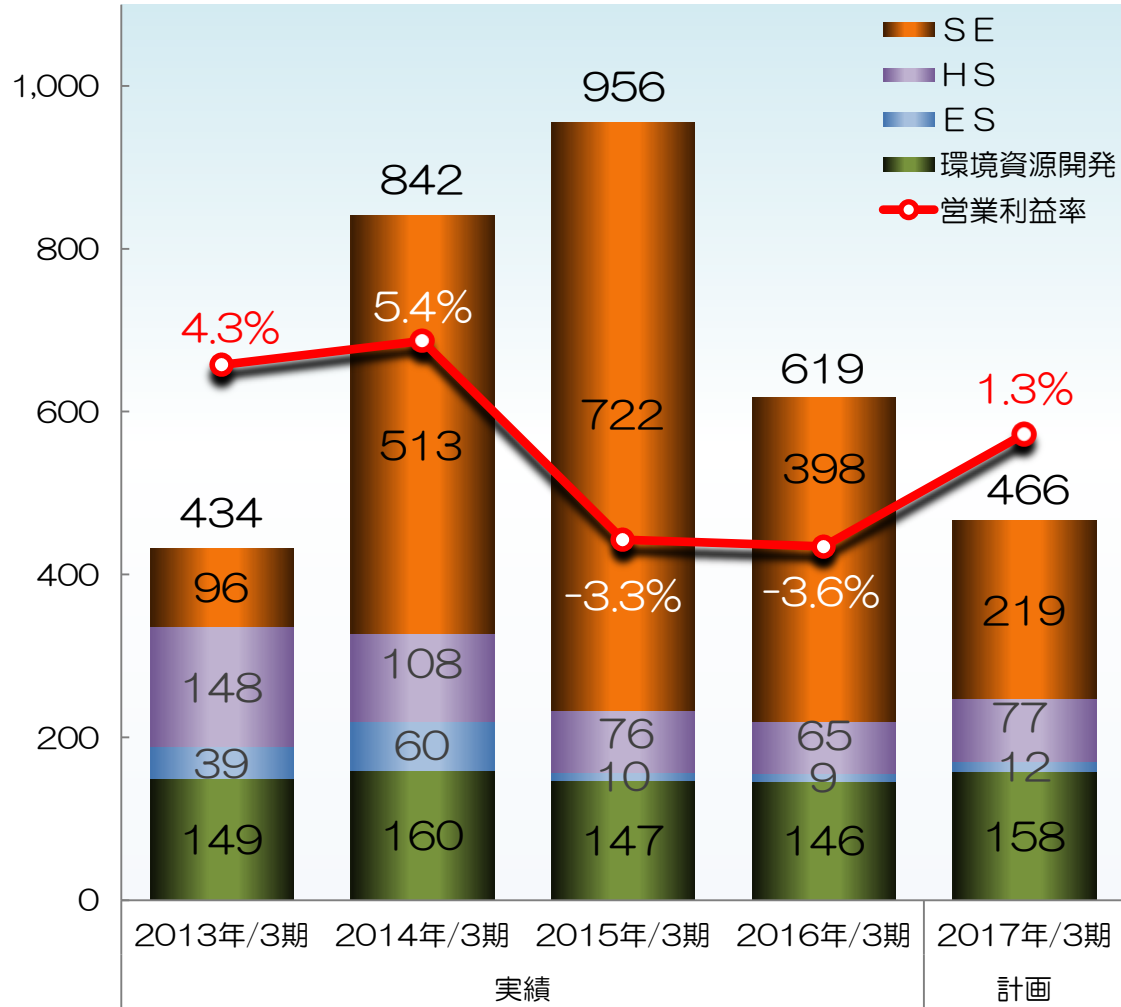
	2017/3期								
	上半期			下半期			通期		
	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異
売上高合計	<b>7,690</b>		+ 823	<b>8,140</b>		+ 405	<b>15,830</b>		+ 1,228
プラスチック燃料	<b>3,572</b>	46.4%	+ 116	<b>3,822</b>	47.0%	+ 50	<b>7,394</b>	46.7%	+ 166
売電収入	<b>2,664</b>	34.6%	+ 1,050	<b>2,948</b>	36.2%	+ 575	<b>5,612</b>	35.5%	+ 1,625
（新電力事業収入）	<b>716</b>	9.3%	—	<b>961</b>	11.8%	—	<b>1,677</b>	10.6%	—
有機廃液処理	<b>835</b>	10.9%	△ 8	<b>808</b>	9.9%	+ 47	<b>1,643</b>	10.4%	+ 38
埋立処理	<b>364</b>	4.7%	△ 22	<b>296</b>	3.6%	△ 20	<b>660</b>	4.2%	△ 42
その他	<b>255</b>	3.3%	△ 312	<b>266</b>	3.3%	△ 247	<b>521</b>	3.3%	△ 559
売上総利益	<b>1,439</b>	18.7%	+ 716	<b>1,561</b>	19.2%	+ 106	<b>3,000</b>	19.0%	+ 822
販売費・一般管理費	<b>1,034</b>	13.4%	+ 132	<b>1,056</b>	13.0%	+ 61	<b>2,090</b>	13.2%	+ 194
営業利益	<b>405</b>	5.3%	+ 583	<b>505</b>	6.2%	+ 44	<b>910</b>	5.7%	+ 627

環境資源開発事業部門は、廃プラスチック受入単価の改訂見直しを行い、受入れ物の品質を高めることにより、効率性、採算性を高めていく。また、苫小牧発電所における「売電収入」の増加、新電力事業による売上の増加を見込んでいる。

業績見通しに変更はありません。

■ 2017年3月期セグメント別売上高・営業利益率の見通し

(売上高：億円)



・2014/3期までの実績については、SE事業部門は旧産業用PV部門の実績であり、HS・ES事業部門は太陽光発電システムの実績を含めて表示しております。

2017年3月期見通し

売上高：**46,670**百万円

営業利益：**600**百万円

営業利益率：**1.3%**